

他区の奨学金制度について

平成31年2月4日 資料No.8
区民文教常任委員会

教育長室

1 給付型奨学金制度（一部返還免除制度）のある区

NO	区名	制度概要	人数	収入の目安	金額	備考
1	新宿	<p>【島田育英基金奨学生】 〈高校〉 社会に有為な人材を育成するため、寄付金をもとに支給。高校等へ入学する人のみ対象。成績要件あり</p> <p>・新宿区島田育英基金条例 (昭和59年12月4日制定)</p>	15名程度	なし	120,000円（入学時に1回のみ）	<p>貸付制度もあり</p> <p>【新宿区奨学生】〈高校〉 入学準備金 国公立 100,000円 私立 200,000円 月額 国公立 18,000円 私立 30,000円</p>
2	文京	<p>【文京区奨学資金】〈高校〉 有用な人材を育成することを目的に、進学又は修学が困難な生徒に給付</p>	非公表	生保受給者を除く、保護者が就学援助費補助対象者	<p>公立 60,000円 私立 100,000円 (入学時に1回のみ)</p>	貸付制度はあったが給付型へ条例改正
3	台東	<p>【台東区奨学金】〈高校〉 経済的理由により児童を高等学校等に進学させるのが困難な人に対し、入学にかかる費用の一部を助成</p>	非公表	保護者全員が非課税、児童扶養手当受給者は課税であっても対象	<p>対象児童1人につき 保護者全員が非課税 80,000円 児童扶養手当受給者で、保護者のうち1人でも非課税 40,000円</p>	貸付制度はあったが給付型へ条例改正

4	品川	<p>【在学応援資金】〈高校〉 高校生が課外活動や目標を実現するために必要な費用や在学中にかかる費用を貸付</p> <p>申請時に資金を活用して何を実現したいのか具体的な目標を立てる。卒業時に在学中の成果を校長からの推薦書を添えて申請すると、審査により全額または一部償還免除</p>	非公表	非公表	<p>在学期間中 上限 600,000 円 (1年あたりの上限 300,000 円)</p>	<p>入学準備金の貸付制度もあり 【入学準備金】〈高校〉 高校等への入学にあたって必要な費用を保護者に貸付 400,000 円以内 (必要額の範囲を上限に貸付)</p>
5	大田	<p>【奨学給付制度(末吉育英基金)】〈大学〉 経済的理由により就学が困難かつ学業成績優秀者へ支給</p> <p>大田区奨学金(貸付)に同時に申し込みをしていること、全教科の成績が5段階評価で平均4.3以上あること</p> <p>・給付型奨学金(末吉育英基金)支給要綱 (平成26年9月18日制定)</p>	40名程度	<p>4人世帯 収入金額 6,870,533 円以下</p>	300,000 円 (1回のみ)	<p>貸付制度もあり 【奨学資金貸付制度】〈高校・大学〉</p> <p>高校 入学準備金 国公立 70,000 円以内 私立 220,000 円以内 月額 国公立 14,000 円以内 私立 26,000 円以内</p> <p>大学 国公立 35,000 円以内 私立 44,000 円以内</p>

6	世田谷	<p>【児童養護施設退所者等給付型奨学金】 児童養護施設等を退所した者等の大学等への進学を支援する。</p> <p>・世田谷区児童養護施設退所者奨学基金条例 (平成 28 年 3 月 8 日制定)</p>	非公表	なし	年額 360,000 円上限	事業創設時(平成 27 年度)は一般財源から拠出。平成 28 年度以降は、せたがや若者フェアスタート事業による寄付金の募集を実施
7	豊島	<p>【豊島区奨学基金】</p> <p>・豊島区奨学基金条例 (昭和 41 年 4 月 9 日)</p>	非公表	①生保世帯②区内に 1 年以上居住する者で児童扶養手当受給者のうち住民税非課税世帯	① 入学者 50,000 円(年額) 在学者 30,000 円(年額) ② 入学者 60,000 円(年額) 在学者 20,000 円(年額)	寄付金をもとに実施
8	荒川	<p>【荒川区奨学資金】 入学準備金みの貸付。 高校卒業後 5 年以内のうち 3 年以上区内に居住すれば全額返済免除</p>	非公表	非公表	国公立 100,000 円 私立 500,000 円 (入学時に 1 回のみ)	月額貸付金については平成 20 年度末で廃止

9	板橋	<p>【福祉修学資金】〈対象の施設〉 板橋区内の医療機関・福祉施設において、介護業務や訓練業務、歯科衛生士の業務に従事しようとする方に、免許取得や就業に関する資金を貸付</p> <p>修学資金 対象資格を取得後、1年以内に区内の医療施設等に従事し、引き続き5年以上従事</p> <p>就業支度金 借受後、区内の医療機関等に5年以上従事すると返済免除になる。</p>	非公表	非公表	<p>修学資金</p> <p>入学支度金 200,000円</p> <p>修学金 60,000円 (月額)</p> <p>就学支度金 300,000円</p>	<p>貸付制度もあり</p> <p>【奨学資金】〈高校〉 入学準備金 国公立 80,000円以内 私立 200,000円以内</p> <p>月額 国公立 17,000円以内 私立 29,000円以内</p>	
10	足立	<p>【育英資金貸付】〈高校・大学〉 学業成績が優秀でありながら経済的な理由により修学が難しい人に貸付</p> <p>全教科の成績が5段階評価で平均4.0以上、正規の修業年限で卒業、卒業後引き続き3年以上区内に在住、10年以内に2年度分納税により借入額の半額を返済免除(上限100万円)</p>	<p>貸付 通常(春・秋) 高・大25名ずつ</p> <p>一部償還免除(春・秋) 高・大5名ずつ</p>	生保 ×1.5	<p>〈高校〉 入学資金 国公立 70,000円 私立 150,000円</p> <p>月額 国公立 13,000円 私立 30,000円</p>	<p>〈大学〉 入学資金 国公立 200,000円 私立 150,000円</p> <p>月額 国公立 35,000円 私立 45,000円</p>	<p>平成30年度から以下も実施</p> <p>【大学等入学準備金支援助成】 大学等への入学資金を準備するために「国の教育ローン」から融資を受ける人で一定の条件を満たす人に150,000円を上限に助成</p> <p>【奨学金返済支援助成】 国の第一種奨学金利用者への返済支援助成(半額・上限100万円)</p> <p>【一部償還免除・特例枠】 学校長の推薦があれば成績要件なし</p>

11	江戸川	<p>【木全・手嶋育英資金】〈大学〉 故人からの寄付金をもとに、経済的理由により修学が困難な人に支給</p> <p>書類選考（成績、収入状況） 通過者を対象に面接選考をする。</p> <p>・木全・手嶋育英事業基金条例 （昭和53年3月31日制定）</p>	10名程度	非公表	<p>入学金 200,000円 修学金 350,000円（年額）</p>	<p>貸付制度もあり</p> <p>【江戸川区奨学資金】〈高校〉 入学資金 100,000円以内 月額 国公立 10,000円以内 私立 30,000円以内</p>
----	-----	--	-------	-----	--	--

2 奨学金制度（貸付制度）はあるが、給付型奨学金制度（一部返還免除制度）について検討をしていない区
墨田、江東、目黒、渋谷、杉並、北、葛飾

3 奨学金制度がない区
千代田、中央、中野、練馬